

# 遠野スタイル創造・発展総合戦略のK P Iの実績について

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ	
【重点プロジェクト1】 雇用確保のための内発 型・外発型商工業の振興	1	創業支援件数	件	7	目標数値	5	5	5	5	6	240.0	達成	新たに事業を始めたいと考えている創業予定者や創業間もない経営者の方を対象に、創業や経営に関する知識や事業計画の策定方法を体系的に習得していただき、地域経済活性化や雇用確保の創出を目的とした「遠野市創業塾」を開講。国の認定制度に基づき市、商工会、商工会連合会、中小企業診断士、金融機関と連携して創業支援していく。	商工観光課	47	
					実績値	12										
	2	新規学卒者雇用数	人	71	目標数値	74	77	80	83	86	104.1	達成	夏休み中に高校生が就職を希望する市内企業を訪問するが、その前にとおの就職ガイダンスを開催し、企業とのマッチングを図った。また、市内企業へのインターンシップに市内高校2校の2年生37名が参加するなど、ものづくり人材育成を推進した。	商工観光課	47	
					実績値	77										
	3	企業の新設・増設件数	件	1	目標数値	1	1	1	1	1	200.0	達成	遠野市事業所設置奨励条例等に基づく奨励措置として、企業の増設1件を支援し、12名の新規雇用が確保できた。 また、遠野宮守さわびの生産振興とあわせて、畑さわびの加工を行う事業所の新設が実現した。 このほか、平成27年における市内の企業等法人所有の資産総額が372.1億円から374.4億円へと増加していることから、企業の実備投資が進んでいる。	商工観光課	47	
					実績値	2										
	【重点プロジェクト2】 タフな農林畜産業の6次 産業化と新たな仕事の創 出	4	45歳未満の認定新規就農者	人	1	目標数値	5	5	5	5	5	120.0	達成	制度創設以来3年間（平成24年度～平成26年度）で17経営体が就農し、平成27年度においては新たに6人が就農した。 今後も県普及センターをはじめ関係機関と連携を図り、農業を始めようとして検討している新規就農者の増加を推進していく。	農家支援室	54
						実績値	6									
		5	重点野菜出荷額	億円	1.3	目標数値	1.3	1.4	1.7	2.0	2.3	169.2	達成	重点品目として位置付けるレタス、ほうれんそう、ピーマン、きゅうり、ニラ、アスパラガスの出荷額。 平成27年度は、青果物の市場価格の高騰により、大幅な出荷額の増となった。また、増反計画を進めてきたピーマン、アスパラガスについては、生産者の増員にもつながった。 重点品目に関しては、アスト事業を有効活用しながら、関係機関と連携し、きめ細やかな支援を実施し、栽培面積の確保と安定した出荷を目指し、産地としての支援を継続する。	農家支援室	54
実績値						2.2										
6		農産物直売所売上額	億円	5.5	目標数値	5.6	5.6	5.7	5.8	5.9	110.7	達成	市内農産物直売所の売上額が増加した。 (売上額 H26 554.6百万円 → H27 619.0百万円) 震災後、売上は昨年まで減少傾向にあったが、震災復興に合わせ増加傾向にあり、震災前の状況に戻りつつある。また、昨年12月、東北横断自動車道釜石秋田線遠野ICが開通したことも増加の要因と思われる。 今後、多様化する購買客のニーズの把握に努めるとともに、各農産物直売所と連携を図り、売上増を目指していく。	農家支援室	55	
					実績値	6.2										
7		6次産業化関連効果額	億円	16.5	目標数値	16.9	17.0	17.2	17.3	17.4	100.0	達成	地域資源を活用した特産品等の売上が増加した。 なお、一部統計が公表前のため、平成28年6月末時点における速報値。 [実績値の内訳] ・農産物直売所の売上額 目標値 557.7百万円 → 実績値 619.0百万円 達成 ・特産品等販売額 目標値 682.0百万円 → 実績値 642.6百万円 概ね達成 ・食料品等製造品出荷額 目標値 390.0百万円 → 実績値 342.9百万円 概ね達成 (ただし、H27実績公表前のため、H26実績を用いている。) ・加工品販売額（従業員4人未満） 目標値 60.0百万円 → 実績値 84.4百万円 達成 (ただし、H27実績が公表前のため、遠野市調べの値を用いている。)	商工観光課 農家支援室	55	
	実績値				16.9											

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ
【重点プロジェクト3】 観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	8	定住者世帯数	世帯	61	目標数値	70	85	100	120	140	105.7	達成	平成27年度の移住・定住に向けた相談件数は延べ115件（57人）で、うち13世帯21人が移住、定住した。 定住者世帯数は達成しているものの、依然、移住・定住希望者が希望する空き家の確保が課題である。 リフォーム事業助成金の利用促進、市内の不動産業者との連携、区長会などの協力を得ながら物件確保の上、更なる定住促進を図っていく。	連携交流課	63
					実績値	74									
	9	道の駅を含む主要観光施設観光客数（外国人観光客）	万人 (外国人：人)	184 (1,208)	目標数値	184 (1,500)	185 (1,500)	186 (1,800)	187 (2,100)	188 (3,000)	98.4 (102.8)	未達成	東日本大震災以降大幅に減少した観光施設の入込人数が戻りつつあるが、震災前の水準までは到達していない。宿泊施設については震災直後よりも減少傾向にある。  【主な施設の入込数】 道の駅の丘 98.3万人（0.1割減）、道の駅みやもり 31.5万人（0.2割増）、観光施設 42.3万人（0.4割減）、宿泊施設 8.5万人（0.1割減）  今後は、平成28年度に策定予定の遠野市観光推進計画において（仮称）遠野市観光推進協議会を立ち上げ、来訪者の動向・ニーズを踏まえ、観光関係機関・団体が一体となって観光振興策を協議するとともに、それぞれの機関・団体の役割分担を明確にし、PRや受入環境整備に取り組み、入り込み増を目指す。	商工観光課	63
実績値					181 (1,542)										
10	観光者宿泊数（民泊者数再掲）	千人 (民泊者数：人)	87 (1,055)	目標数値	76 (1,100)	79 (1,125)	81 (1,150)	83 (1,175)	85 (1,200)	111.8 (116.4)	達成	目標を上回る入込となったが、被災地から利便性の高い当市を拠点とした復興支援関連の宿泊客が含まれており、純粋な観光客の入込み増に至っていない。  【種類の別宿泊者数】 ホテル 3.3万人（1.3割減）、旅館 2.2万人（0.1割増）、民宿 1.5万人（0.7割増）、その他宿泊施設 1.5万人（0.7割増）  今後は、平成28年度に策定予定の遠野市観光推進計画において（仮称）遠野市観光推進協議会を立ち上げ、来訪者の動向・ニーズを踏まえ、観光関係機関・団体が一体となって観光振興策を協議するとともに、それぞれの機関・団体の役割分担を明確にし、PRや受入環境整備に取り組み入り込み増を目指す。	商工観光課 (連携交流課)	64	
				実績値	85 (1,280)										
11	地域間交流者等受入数	人	681	目標数値	700	700	700	700	700	137.3	達成	武蔵野市家族ふれあい自然体験ツアーや大府市民ツアーの受け入れ、菊池市・西米良村との住民相互交流を行い、友好都市との交流を深めることができた。むさしの青空市・大府市産業文化まつり・福岡秋まつりに出店を行い、遠野市の特産品を販売しPRすることができた。さらに、「平成・南郷藩」交流事業は、企画会議を実施したことにより、構成市町との交流と相互理解を深めることができた。 今後も友好都市・交流市町村と交流を継続し、絆を深め、交流人口の拡大へ努め、地域の活性化につなげていく。	連携交流課	64	
				実績値	961										
【重点プロジェクト4】 「子育てするなら遠野」の推進	12	合計特殊出生率	人	1.90	目標数値	1.90 (H26実績)	1.90 (H27実績)	1.92 (H28実績)	1.92 (H29実績)	1.94 (H30実績)	101.6	達成	わらすっこプランによる事業の推進を図り、特に、平成27年度については、子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、保育料の利用者負担額を国の基準額の半額程度に設定するなど、子育てにやさしい環境づくりを更に進めた。 また、公立保育所3園を遠野市保育協会に移管したことにより、市内の保育所運営体制の一元化が図られた。 指標である合計特殊出生率については、目標数値と比較して0.03上回っており、平成24年以降、県内14市の中で最も高い地域として維持できている。 今後は、「子育てするなら遠野」の第2ステージとして、地域や事業所を巻き込みながら、市全体として子育てを応援するまちづくりを図り、「子育て応援宣言のまち」をキャッチフレーズにわらすっこ関連事業をさらに発展させ、1.91を目指して施策を展開していく。	子育て総合支援課	71
					実績値	1.93									
	13	児童館・児童クラブ年間延人数	人	136,911	目標数値	136,250	137,900	138,400	138,950	139,450	103.3	達成	平成27年度の延べ利用者数は目標数値に対して4,459人上回る結果であった。 児童数が減少しているなかで、目標値を上回ることができたのは、児童館及び児童クラブが地域交流事業など、特色ある活動に取り組んでいる成果である。 今後も、児童の健全育成の場、子どもの居場所として、活動内容の充実や児童館施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに沿った管理運営に努める。	子育て総合支援課	71
実績値					140,709										
14	わらすっこ割合	%	14.02	目標数値	14.02	14.02	14.02	14.02	14.02	98.9	未達成	わらすっこプランによる事業の推進を図り、特に、平成27年度については、子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、保育料の利用者負担額を国の基準額の半額程度に設定するなど、子育てにやさしい環境づくりを更に進めた。 また、公立保育所3園を遠野市保育協会に移管したことにより、市内の保育所運営体制の一元化が図られた。 指標であるわらすっこ割合（年度末における、18歳以下の人口の割合）については、目標数値と比較して0.16%下回った。 主な理由としては、出生数の減少が挙げられるため、子育て支援施策のみならず、出会いの創出事業や、産業の振興など少子化対策の強化において「子育てするなら遠野推進本部」において協議し、わらすっこプラン関連事業をさらに発展させ、14.02%を維持できるように施策を展開していく。	子育て総合支援課	71	
				実績値	13.86										

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ	
【重点プロジェクト5】 高齢者の自立と社会参加の促進	15	ICT健康づくり事業 参加者数	人	462	目標数値	500	550	600	620	640	94.2	未達成	ICTを活用した歩数計の携行による健康づくりを市内21会場で実施し、自ら取り組む健康づくりのサポートをしたほか、栄養教室や転倒骨折予防教室を開催し、参加者の意欲向上に努めた。 無関心層を取り込むことができる施策を実施しながら、健康づくりに取り組む市民の増加につなげていく。	保健医療課	78	
					実績値	471										
	16	特定健康診査受診率	%	50.2	目標数値	60	60	60	60	60	79.3	未達成	(この数値は暫定値であり、確定するのは平成28年10月末) 平成26年度からは、健康診査料の自己負担金分に係るスキップカードのポイントを付与するとともに平成27年度からは、満点カードによる健康診査料の支払いができるようにした。 また、健康教育や健康相談などの様々な機会を捉え、受診動機に努めた。 これらの取組の結果、平成26年度の確定受診率は、対前年比で1ポイント増を確保し、県内全体で6番目、14市中で1番であった。 今後は、平成28年3月に策定した第3次遠野市健康増進計画に基づき、個人への呼び掛けや地域や団体等と連携した取り組みにより受診率の向上に努める。	保健医療課	78	
実績値					47.6											
17	シルバー人材センター受託事業の就業延べ人数	人日	15,045	目標数値	16,500	17,000	17,500	18,000	18,000	84.4	未達成	平成27年度は、継続して新規会員の勧誘等を行ったが、13人の減少となった。定年後も再雇用により継続して就労することができるため、全国的に会員は減少傾向にあり、本市もその傾向にある。それに伴い、就業延べ人数も減少し、目標達成に至らなかった。 高齢者の知恵と技能は貴重な社会資源であり、今後も会員数はもとより、新規受託事業の拡大に向け情報提供を行っていく。	長寿課	78		
				実績値	13,921											
【プロジェクトX】 人と人とのふれあいによる“しあわせ度”の向上	18	遠野市ひとパワー (10の市民協働事業への参加者)	HP (ひとパワー)	52,144	目標数値	53,000	54,000	55,000	56,000	58,000	93.6	未達成	遠野市ひとパワーの測定は、以下の10事業の参加者である。 昨年度より上回った事業は6項目、下回った事業は4項目である。 目標数値より減の要因としては、大ホールの改修中により、市民協働の芸術文化事業の参加者及び鑑賞者数が、昨年度より4,861人減になったことである。		53	
					実績値	49,615										
	18-1	日本のふるさと「遠野まつり」参加者数	人	9,500	実績値	10,000										
	18-2	市民協働の芸術文化事業の参加者及び鑑賞者数	人	11,563	実績値	6,702								まちづくり指標【No.113、114】	生涯学習スポーツ課	
	18-3	遠野こだわりの「語り部」認定数	人	710	実績値	792								まちづくり指標【No.125】	調査研究課	
	18-4	みんなで築くふるさと遠野推進事業参加者数	人	1,654	実績値	1,909								まちづくり指標【No.130】	市民協働課	
	18-5	環境整備事業(市内一斉河川清掃・花いっぱい運動)参加者数	人	12,044	実績値	11,792								まちづくり指標【No.126、128】	環境課 市民協働課	
	18-6	元気楽しく高齢者体力アッププログラム等健康づくり教室参加者数	人	6,248	実績値	5,647								まちづくり指標【No.48、50】	長寿課 保健医療課	
	18-7	認知症サポーター登録者数	人	2,262	実績値	2,488								まちづくり指標【No.52】	長寿課	
	18-8	SL停車場プロジェクト「お出迎え隊」述べ参加者数	人	1,629	実績値	1,601								まちづくり指標【No.94】	商工観光課	
18-9	町民運動会参加者数	人	5,000	実績値	5,760								町民運動会は、子どもから高齢者までの世代が一堂に会して行われる体育イベントであり、各町工夫を凝らした種目を組みながら開催している。世代間が触れ合う機会が減少する中にあり、運動を機に触れ合うことにより心身ともに健康につながるイベントとして、今後も地区ごとに特色が発揮できる仕組みづくりに取り組む。	生涯学習スポーツ課		
18-10	遠野みらい創りカレッジ参加者数	人	1,534	実績値	2,924								市外も含めた利用者総数は5,327人と前年の3,569人から約1.5倍に、市内利用者の割合は前年43%から58%に増加したことから、地域における活動の認知と定着が進んだことがうかがえる。 今後は、市内外の交流を活性化させ、地域動向に対応したプログラム運営に取り組む。	まちづくり再生担当		